



測量技術者

地球観測騎士 ジオセイバー

株式会社コーケン

入社5年目 27歳

O.S.さんに聞きました
どんな仕事？

土地の“正解”を見つけ出す

土地の形や広さ、境界を正確に測り、公共の地図として残す仕事です。道路や建物づくり、土地の管理や売買の前提となる「土地の戸籍」とも呼ばれます。まちづくりのすべてのスタート地点となる測量は、見えない所で日常を支えています。

スピードより正確性

測量は数ミリのズレでも、広い土地では大きな誤差になるため、正確さ命です。器械を水平に正しく設置することで精度が決まります。ベテランは数分、新人は20分かかることも。地味だけど、ここがプロへの第一歩です。

3人1組のチーム戦

測量は3人1組で進めるチームの仕事です。現場をまとめる班長、杭を正確な位置に合わせるベテラン（ピン）、測量機器「TS*」を操作する新人の組み合わせ。役割分担と声かけでズレを防ぎます。一人では完結しない、協働の仕事です。

*TS（トータルステーション）… 距離や角度を測る測量機器

この仕事の
詳細をチェック！



O.S.さんが働く会社！

- ☑ 出前授業
- ☑ 個別質問
- ☑ 職場見学

千葉県茂原市長尾 2683-28 tel.0475-25-2002

株式会社コーケン

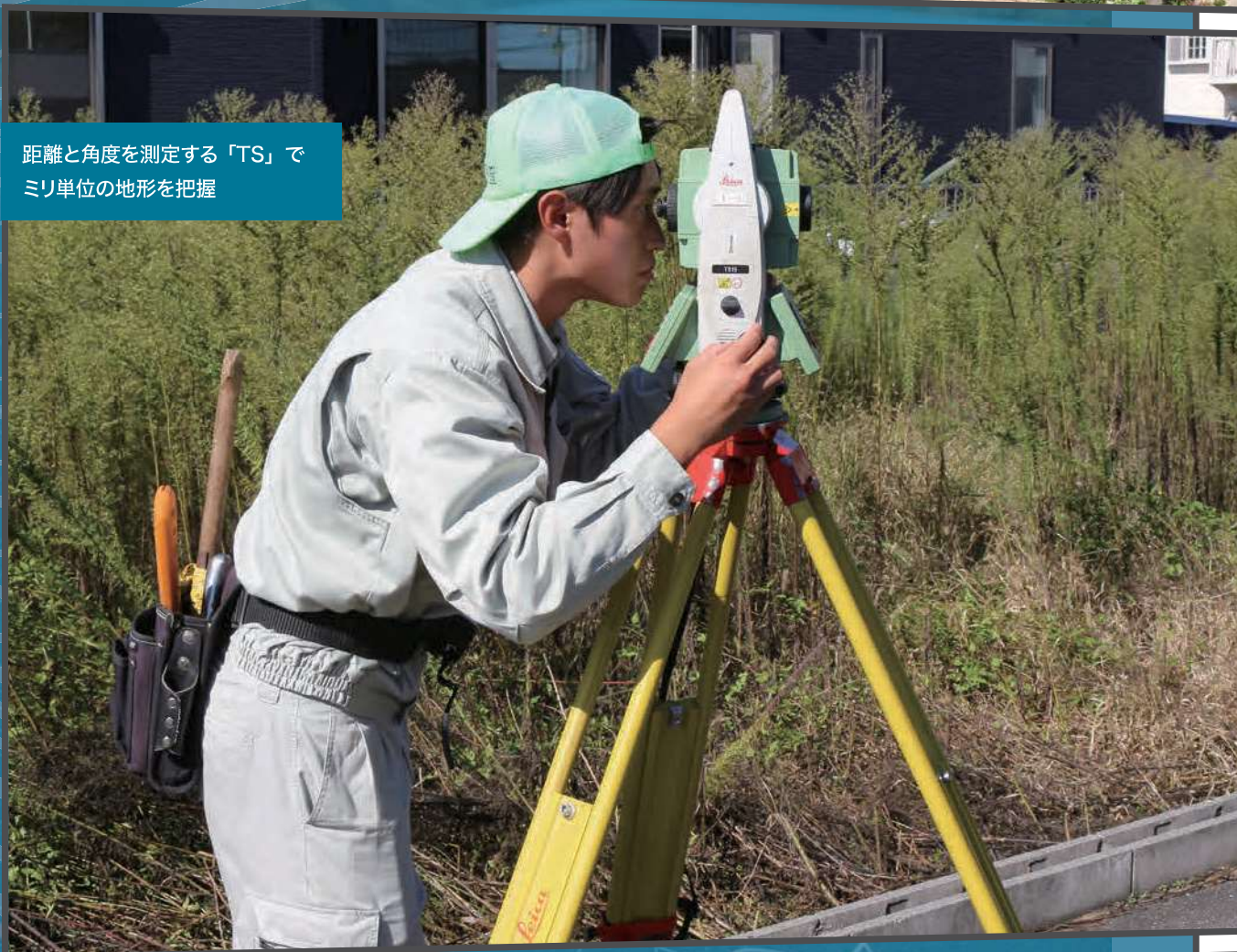
千葉県を拠点とする総合建設コンサルタントです。最新技術と対話力を武器に、地域の安全と暮らしをワンストップで支え、豊かで安全な地域社会の暮らしを支える地図づくりを続け、貢献しています。



<https://koken.cc>



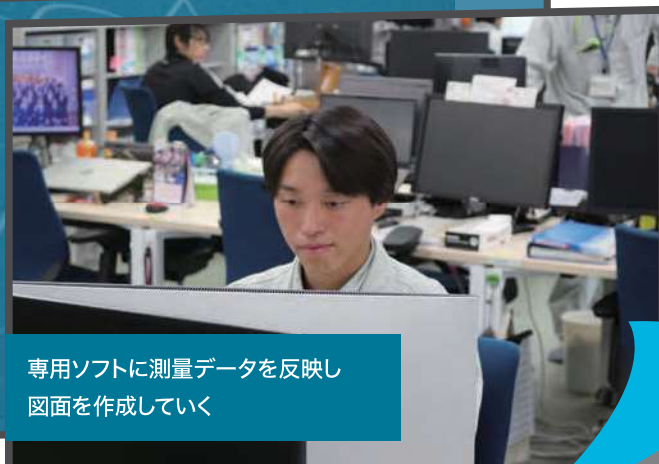
距離と角度を測定する「TS」で
ミリ単位の地形を把握



チームで図面を見ながら
細かい確認をしていく



専用ソフトに測量データを反映し
図面を作成していく



次のページで
さらに詳しく！

測量技術者 に聞いてみた！ 仕事のリアル

見えない未来を支える、地図の力

測った結果は地図として残り、まちづくりや土地管理、防災や災害復旧など、さまざまな判断に使われます。見えない場面で人の行動を支える基礎となり、多くの情報をもとに役立つ地図になります。

とある1日のスケジュール



プロを育てる社内勉強会

未経験からでも測量士を目指せるよう、社内で資格勉強会を実施しています。毎年多くの合格者が出ており、「入社してから成長できる」環境が整っています。

整理整頓は“仕事の一部”

毎朝、環境整備の時間を設け、作業場や地域を清掃します。「道具を大切に作る＝精度を守る」という考え方と、作業環境を常に綺麗に保つ姿勢が、ミリ単位の正確な測量につながっています。

人と向き合う測量

境界は、図面だけで決まるものではありません。隣り合う土地を持つ人どうしの記憶と公的な資料を比べながら、土地の持ち主全員が同意できる境界線を決めます。測量技師はその間に立ち、相手の話を最後まで聞き、「それならいい」と思える形を一緒に見つけます。



自然が相手

長年人が入っていない山林では、まず伐採作業から始まります。草木が生い茂り、足元が見えない場所も多く、蜂が出たり、急な斜面を登り降りすることもあります。安全に測量できるよう、事前にルートを確認し、防護具を身につけて作業を進めます。

命を守る地図

完成した地図は、防災や災害復旧の場面でも使われます。どこが危険で、どの道が安全に避難できるのかを判断する材料になります。将来は、雨量や地盤の情報と組み合わせ、「今すぐ逃げるべきかどうか」を見極める地図として、人の命を守る役割を担います。



ON STYLE

仕事のやりがい？

安心を残す地図



1年以上の調査後、土地を持つおじいさんと娘さんに新しい地図を見せました。形や境界を説明すると、「土地が分からず不安だったけど安心できた」と言われ、未来に残る仕事だと実感しました。

OFF STYLE

プライベートは？

段取りは、家でも現場でも

奥さんの誕生日にコース料理を手作りました。前日からメニューを考え、下ごしらえや盛り付けの順番まで計画。喜んでもらった時は嬉しかったです。仕事でも、準備と段取りを大切にする姿勢は変わりません。



測量技術者へのステップ

測量技師を目指す場合、工業高校や専門学校で測量や土木を学ぶ進路がありますが、普通科や文系からスタートする人も多くいます。入社後に測量士補、測量士といった国家資格を取得し、現場経験を重ねながら専門性を高めていきます。

測量スタッフ

先輩の指示で測量機器TSを操作し、測量の基本と現場の流れを学びます。



測量技術者

杭を持ち、測定位置を正確に示す「ピン」を担当します。測量結果に直接影響するため、判断力が求められます。



管理職

工程管理や精度管理、最新技術の導入・検討など難度の高い仕事を任せられ、技術と経験を次世代へつなぎます。

作業班長

チームをまとめ、測量計画の作成や現場を指揮します。コミュニケーション力が必要になります。



O.S.さん 測量技術者歴5年目

高校 — 大学 — 測量技術者へ

志望動機 測量技術者を選んだきっかけ

大学時代はITやブライダル業界を志望していましたが、被災地ボランティアを経験し、暮らしや命を支える仕事に関心を持ちました。就職イベントで出会った経営者の姿勢に共感し、測量を通じて社会の土台を支えたいと考え入社しました。

キャリア 入社後の歩み

入社後は研修を経て地籍調査の現場に立ち、測量の基本を体で覚えました。その後、採用担当として説明会に立ち、人に伝える難しさや面白さを経験。現場と人の両方を知ったことで、考えて動く社会人の土台ができ、今の仕事にも自信を持って向き合っています。

先輩にも聞きました!

測量技術者歴30年目

M.H.さん



やりがい 測量技術者のすごいところ

測量の仕事は、やった結果がすぐ形になる仕事ではありません。今日測った土地が、道路や街として完成するのは5年後、10年後のこともあります。でもその土台がなければ、未来は動きません。「今すごい!」より、あとから効いてくる仕事だと感じています。

メッセージ 一歩ずつ、確かな力に。

今すぐ将来の答えが出なくても、心配はいりません。大切なのは、目の前のことから逃げず、毎日コツコツ取り組むことです。自分も分からないことばかりでしたが、努力を重ねるうちに少しずつ自信がつかえました。頑張った経験は必ず力になります。きっと遠回りに見える時間も、後から必ず意味を持ちます。焦らず、一歩ずつ前に進んでください。

